

しまね大会交流セッション②プログラム

「高齢者・障害者の住宅改修において建築士としてできること」に参加して

下川 滝 美

第1部

「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」調査結果概要報告。

昨年末から2月までに各都道府県建築士会より提出された事例等118事例の概要を説明されました。内容はホームページで見ることができます。

■生活を支援する居宅サービス 資料

<http://www.kenchiku-cpd.jp/~photo/dl/2013/seikatsu-shien.zip>

第2部 「事例報告と今後の課題」

改修事例3事例の発表がありました。

私も3番手として事例の発表をさせていただきました。

私の事例は自宅の改修事例で義母の症状の変化に合わせて改修をしたものです。

その後パネルディスカッションを行い、高齢者等の住宅改修において他職種の連携が大切だということと住まいづくりのプロである建築士がかかわることの意義などを共有しました。



この発表にあたり、私は前日から島根県入りしました。

発表者である徳島県の中村さんは徳島士会として高齢者住宅改善アドバイザーとして対応されてきました。また岡山県の中山さんはボランティア団体手すりの会として活動されています。ブロックの女性委員の方々との交流もさせていただき、また高齢者の住宅改修についていろんな情報を得ることができ有意義な時間を過ごすことができました。